

新大広報

Public Relations Magazine of Niigata University

2018年卒業記念号 No.206



卒業生・修了生からのメッセージ

特集


新しい未来への 出発点

～たくさんの思い出と感謝を胸に～

| 学長からのメッセージ



真の強さを学ぶ。

 新潟大学



卒業・ 大学院修了を祝して

新潟大学長

高橋 姿

TAKAHASHI Sugata

新潟大学の卒業生、大学院修了生の皆さんに、学長として心よりお祝いを申し上げます。

今年も、たくさんの前途有為な卒業生及び大学院修了生を社会に送り出すことができますことは、我々新潟大学の教職員にとってこの上ない喜びであるとともに、誇りでもあります。

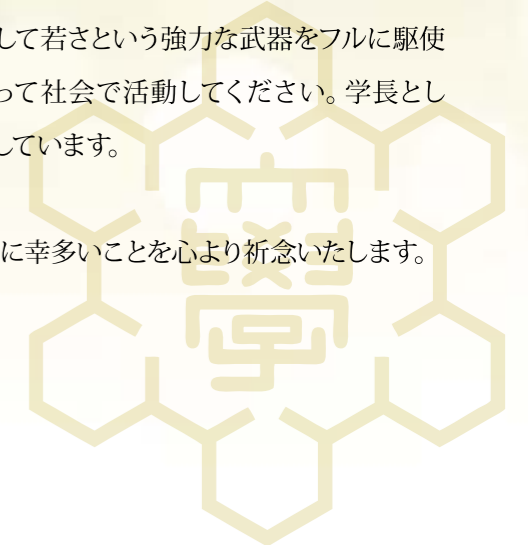
仲間たちと共に学び、研究に集中した日々、充実した課外活動、沢山の思い出を胸に、大きな夢と希望を持って、人生の新たな一步を踏み出してください。

これから皆さんが活動する社会の状況は、就職状況等を見る限り国内の産業・経済分野は好調な様子ですが、先行きは不透明と言えます。世界ではポピュリズムの台頭、場所を選ばないテロリズム、難民問題、北朝鮮の弾道ミサイル、進展なき拉致問題等々があり、国内では「ものづくり大国日本」の信用を失墜させる有名企業による検査不正、粉飾決算等々、嫌なニュースが続いています。今のグローバル時代においては、いつ何時さらに大きな難題が生じるか、予測不可能な状況と言えます。

加えて、近年における社会構造の急激な変化や科学技術の飛躍的発展、特にICT、IoT、AI等によるSociety 5.0と言われる近未来社会が求める人材像には大きな変化が生じています。これからの社会で求められる人材は、世界のどの地域においても活躍可能な人材、広い視野と高度な汎用的能力を備えた人材です。さらに、新たな技術や事業の創出を可能とする人材であり、経済界・産業界のみならず、社会のあらゆる領域・地域において求められています。

これから社会へ飛び立つ皆さんは、このような予測不可能な世界に対して、大きな期待と同時に不安があるかもしれません。しかし、これまで本学で学んだ皆さんは、タフでありしなやかでもある真の強さを持ち、人生の課題に立ち向かう素養を十分に備えた故に、新潟大学の卒業あるいは大学院修了を認められたのです。これからの時代に適応可能、活躍可能な人材です。活躍の場はそれぞれ違っていても、広い視野と深い教養、高い専門的能力、そして若さという強力な武器をフルに駆使して、自信をもって社会で活動してください。学長として、大いに期待しています。

皆さんの前途に幸多いことを心より祈念いたします。



～たくさんの思い出と感謝を胸に～

新しい未来への出発点

卒業生・修了生の皆さん、新潟大学での大学生活はどんなものだったでしょうか？

たくさんの学びや出会いがあったと思います。楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと…皆さんの大学生活を振り返ってみてください。

Q1 学生生活で大変だったけど乗り越えたこと

人文学部
人文学科

関 翔之輔 SEKI Shonosuke



私が学生生活で最も大変だと感じたのは、北京大学への交換留学です。大学で専門の歴史を勉強すると同時に、中国語の学習も始め、自身の知見を更に広げるために、北京大学へ留学をしました。留学では当初、言葉が不自由なことから、困難を感じました。しかし、失敗を恐れず様々なことに果敢にチャレンジしたことで、たくさんの貴重な経験ができました。今では1年間の留学生活は、私に自信を与えてくれる最高の思い出です。

これからの
決意表明

春からは地元に戻り、社会の一員として働くこととなります。大学で学んだことを活かし仕事に励むと同時に、様々なことに挑戦していきたいです。そして、留学中に見つけた夢の実現に向けて、頑張りたいと思います。

理学部
物理学科

佐藤 桃子 SATO Momoko



高校生までの勉強と大学生の勉強が大きく違っていたことに悩みました。高校までは、先生が中心の勉強でしたが、大学では自分で聴講する講義を選び、自分で勉強するという、自分中心の勉強になったため、入学した頃は大変戸惑いました。しかし進級していくうちに自分ももっと勉強したいものが見えてくるようになり、結果として憧れていた研究室に所属することができました。

これからの
決意表明

春から、社会人としての生活が始まります。大学での専攻と仕事の内容は異なりますが、物理学科で身につけた考える力を活かして、さまざまな課題に向き合っていきたいです。

大学院
技術経営研究科

坂上 朗 SAKAGAMI Akira



全力で駆け抜けた2年間であり、今となっては辛かったことも良い思い出となりました。

理系の私が経営系の授業についていけるか心配でしたが、バックグラウンドの異なる20代から60代の学生(良き仲間)に助けられ、どうにかやり遂げることができました。学業と仕事の両立は非常に大変でしたが、無駄を省き、時間を有効活用し、効率よくこなすことを身に付けることができました。これは現在の仕事においても非常に役立っています。

これからの
決意表明

MOT修了はゴールではなく、新たな出発点であると考えています。したがって、現状に満足せず、今後も絶えず学ぶ姿勢を持ち続けます。そして、「人」の大切さを肝に銘じ、「謙虚にして驕らず」を貫く所存です。

大学院
自然科学研究科 博士前期課程
町田 幸祐 MACHIDA Kosuke



私は研究室での活動に最も力を注ぎました。研究では、1つの問題解決に2か月かかるなどストレスに感じることもありました。また、大学4年時に参加した短期語学研修で、異文化に触れることの新鮮さを味わいながらも、語学能力の必要性を痛感しました。こうした壁を少しずつ越えていくことに充実感を得ながら取り組むことができました。私の学生生活は、先生方や仲間の助けがあってこそ成り立つものであったと実感しております。

これからの
決意表明

4月から社会人とはいえ、「学ぶ」ことはこれからも続きます。先輩社員の方々に勝るとも劣らない点は、新しいことを吸収する意欲です。その勢いと、人との関わりの上に仕事があるということを胸に精進していきます。

法学部
法学科
植木 洸 UEKI Hiroshi



私は法律相談部の部長を務めておりましたが、私自身は集団を牽引することに慣れておらず不安を感じていました。しかし、部長としてどのような行動、振る舞いをすればよいか考えることで、自分を見つめ直す機会となり人として少し成長できたと思います。また、部長として至らない点は数多くあったものの、同期の部員や下級生の助けもあり部長としての役割を全うすることができました。この活動を通し、自身の成長や仲間という存在の大切さを感じることができました。

これからの
決意表明

私はこの春から、陸上自衛隊幹部候補生として自衛隊の指揮官を目指すことになります。部長として培った経験を活かして、有事の際により多くの人々の命を守ることで指揮官になりたいと思います。

医学部
保健学科

大澤 阿紋 OSAWA Amon



私が学生生活で苦労したことは、卒業研究と臨地実習の両立です。臨地実習では緊張や不安から先方に迷惑をかけながらも、医療従事者としての振舞いを考える貴重な機会となりました。研究では8月末の学会発表に向け、実習後から夜遅くまでデータ解析に追われる日々でしたが、なんとか発表にこぎ着けられました。これらを両立できたのは、周囲の人々の多大なる協力や激励あってこそであり、深く感謝申し上げます。

これからの
決意表明

春からは新潟大学の修士課程に進学します。モダリティや画像診断への専門知識を深めるとともに、臨床現場における研究姿勢のあり方を身につけ、臨床の最先端で活躍できる診療放射線技師になりたいと考えています。

医学部
医学科

渡邊 沙緒里 WATANABE Saori



大学生活で最も大変だったことは、合唱サークルの団長を務めたことです。各々が異なった生活背景をもち、団の位置づけも異なる団員達をうまく揃えられず、どのように団を運営し音を維持するか、何度も壁にぶつかりました。自分の団長としての不甲斐なさに何度も悩みました。その中で、一人ひとりに声をかけ相手を責めずに慮ることの大切さを学びました。不甲斐ない団長を支え、最後までついてきてくれた団員には本当に感謝しています。

これからの
決意表明

私が医師を志した原点は国境なき医師団にあります。病に苦しむ患者さんに真直ぐに救いの手を伸ばし、患者さんとそのご家族の人生に寄り添ったケアができる医師になることが目標です。

農学部
生産環境科学科
成澤 慎太郎 NARISAWA Shintaro



座学で学んだ知識を活かす場である、野外での実習や調査が大変でした。室内で得た知識が必ずしも当てはまるわけではなく、自然を相手にすることの難しさを痛感しました。しかし、仲間と意見を出し合い、協力しながら実践を積むことで少しずつ知識が組み合っていき、実習や調査に活かして乗り越えることができました。一緒に高め合えた仲間がいたからこそ今の私がいるのだと思います。

これからの
決意表明

春からは地方公務員の林業職員として、大学での学びが存分に活躍できる職に就くことになります。これまでの経験を活かしながらも、学び続ける姿勢で自分を高める努力を続けていきます。

大学院
保健学研究科 博士前期課程
杉田 魁人 SUGITA Kaito



私は学部卒業時に診療放射線技師の免許を取得し、大学院では研究を行うと共に技師として勤務する日々を過ごしていました。これまでの学部生時代の生活とは異なる生活スタイルとなり、研究と臨床を両立することは大変でした。しかしながら、先輩や先生方が助けてくださったおかげで知識と技術が身につく、乗り越えることができました。苦労も多い2年間でしたが学ぶことも非常に多く、成長に繋がったと思います。

これからの
決意表明

春からは一人の医療従事者として病院で働きます。これまで培ってきた知識と技術を活かして、これからもコツコツと努力し続けたいと思います。臨床でも向上心を忘れずに一歩ずつがんばります！

大学院
現代社会文化研究科 博士前期課程
胡 晓寒 HU Xiaohan



私自身が日本で生活を始めた時に、新しい生活と学業が大変だったこともあり、中国人留学生学友会に入り、いろいろお世話になりました。日本に来た2年目に副会長になり、20名のスタッフと共に、後輩留学生が安心して日本で暮らせるイベント、留学生同士や日本人学生と交流できるイベントなどを企画し、実行してきました。友人がいれば安心して、日本で学業や生活に励むことができることを伝えてきました。

これからの
決意表明

学校から卒業して社会人になることを緊張しています。ですがそれと同時に新しい生活を展開することがほんとに嬉しいです。今日の気持ちを忘れず、日々誠実に仕事に励むつもりでございます。



大学院
医歯学総合研究科 修士課程
堀 かりん HORI Karin



私はすぐに行動することが苦手で、疑問があっても誰にも聞かず、結局実験を失敗してしまうという悪循環を繰り返していました。しかしその経験があったおかげで、今ではすぐ行動することの大切さを学び、たくさんの実験手法や研究をする上で大切なことを身につけることができました。研究することは苦労が絶えませんでした。先生方の常日頃からの手厚いご指導により乗り越えることができました。本当にありがとうございました。

これからの
決意表明

修士課程は本当にあっという間で、留学生との出会いもあり日々充実した毎日を送ることができました。大学院で学んだことや出会いを大切に、これから社会に貢献していきたいと思っています。



工学部
情報工学科
松本 亮太 MATSUMOTO Ryota



私が学生時代苦労したことは、勉強です。私は工学部に所属しており、授業ではプログラミングや工学の知識、物理数学について勉強していました。学年が上がることに専門性が増していっていき、課題が与えられるだけでなく、自分で課題を見つけて取り組むという自主性を重んじた授業が増えていきました。自身のやりたい事に合ったゴールを設定するのはとても新鮮な体験であり、制作過程で理解が及ばない部分を先生に質問しながら、最終的に満足いくものを作り上げました。

これからの
決意表明

これからは大学で学んだ知識や経験を活かしながら働きます。工学部で学んだ知識に対する探究心を忘れることなく、未知の分野に対しても積極的に学ぶ姿勢を忘れずに今後の人生も歩んでいこうと考えています。

Q1 学生生活で大変だったけど 乗り越えたこと

歯学部
歯学科
渡邊 陽輝 WATANABE Haruki



乗り越えたこととして印象的なことは、臨床実習です。臨床の場に立てる喜びの反面、未熟な自分を痛感しました。自分の周りは、努力家ばかりで深夜まで患者さんのために治療計画を考える人、技工作業を続けている人もいました。後に帰る時間が遅いことで怒られましたが(笑)辛い時はボンカ飛鳥でお腹いっぱい食べました。最後に笑って卒業できるのは、友達や先生方の支えがあってこそなので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからの
決意表明

これからは歯科疾患を抱えた患者さんの支えとして、誰からも信頼される歯科医師になれるよう努力していきたいと思っています。一人前になった時にいままで支えてきてくれた人に恩返し出来たら最高です。

経済学部
経済学科
齊藤 慈英 SAITO Jiei



新しい人間関係を築くことは苦労しました。自分が県外生ということもあり、初めてのことでただけでした。何も分からない状態だったので、興味を持ったものにはとにかくアプローチしていきました。その影響が、部活・サークル仲間を始め、他大の学生や企業の方等とも交流の輪を形成出来ました。新潟という新しい環境で、積極的に行動したことで様々な出会いや発見を得られたことは、大学生活のかけがえのない財産になったと思います。

これからの
決意表明

就職活動中に定まった人生理念というものがあります。瞬間瞬間を本気で生きていくというものです。社会に出たらひたすら力不足を感じるとは思いますが、弱音を吐かず、自分のベストを常に発揮して活躍をしていきます。

大学院
医歯学総合研究科 博士課程
佐藤 圭祐 SATO Keisuke



「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し、思いて學ばざれば則ち殆し。」国語の授業で論語を学んだ記憶がある。ネットを活用し多くの情報が簡単に手に入る昨今、自分の中に情報を素通りさせ「わかったつもり」になりがちだと感じる。しかしそんな時代だからこそ、「人から学ぶ」ことに加えて「自ら考える」ことが求められていると思う。私にとって大学院はその事を学ぶ場であった。後輩の皆さんにも充実した学生生活を送ってもらいたい。

これからの
決意表明

相撲の口上では四字熟語をよく使う。私の場合は「初志貫徹」という言葉を選ぶだろうか。志は高く、そしてその志を貫き通す強い気持ちをもって、日々の仕事に精進していきたいと思う。

農学部
応用生物化学科
宗像 直輝 MUNAKATA Naoki



この4年間は、あっという間ではありましたが、実に充実したものでした。バレーボールを通じて知り合った友人と立ち上げたサークルでは多くの仲間にも恵まれました。ダブルホームでは、地域活動の企画や組織運営を経験しました。学業面では、専門の勉強や研究室での実験に日々邁進しました。若く、時間もある大学時代に何をし、何を学ぶのかは学生次第です。新大での4年が皆さんにとってかけがえのないものになることを願います。

これからの
決意表明

この春、新大の大学院に進学します。高校時代に志した生命科学分野の研究が続けられることを嬉しく思います。先に社会人となる同期生に負けたくない自分を磨き、社会に貢献し得る「人間力」を身につけます。

医学部
医学科
深堀 響子 FUKAHORI Kyoko

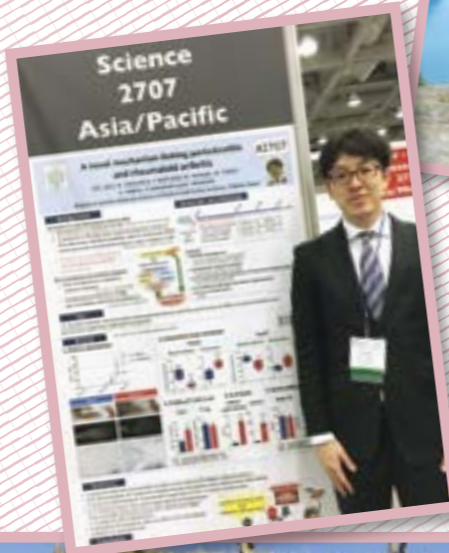


皆さんはどのような医師になりたいですか。私はグローバルな視点を持ちたいという目標があり、6年間を通し、ロシア、アメリカ、イギリスに留学したり、米国医師国家試験USMLEを受験したりしました。大変なこともありましたが、思い切って挑戦して本当によかったです。医学部では、膨大な医学の勉強に加え部活動等もあり、忙しく、あっという間に6年が過ぎます。ぜひ夢を忘れず強い気持ちをもって、様々なことに挑戦し、限りある時間をより濃いものにしてください。

これからの
決意表明

グローバルな視点を持ってローカルに実践する力のある医師になりたいです。それを具体的に実現できるのはずっと先かもしれませんが、常に学び続ける姿勢と患者さんに寄り添う気持ちを大切に、一生懸命頑張ります。

Q2 卒業するにあたり 後輩へ一言



大学院
自然科学研究科 博士前期課程
米山 隼佑 YONEYAMA Shunsuke



やりたいことに挑戦してみましょう。成し遂げたいこと、将来の為になること、人の役に立つこと、新しいこと、楽しそうなこと、興味があることなど目的を見つけ、がむしゃらに挑みましょう。常識や周りに流されず、失敗を恐れず、やってみましょう。(ただし、みんなへの感謝の気持ちは忘れないように!) 本気で取り組んだことは貴重な経験となり、自身の成長に繋がります。皆さんの更なるご活躍に期待しています。

これからの
決意表明

私の尊敬する大人たちは、強い芯を持ち、好奇心が旺盛で、目を輝かせ興味があることに熱中し、社会のためとなる成果を残しています。私も童心を忘れず、社会に貢献することができる大人になれるよう精進します。

大学院
保健学研究科 博士前期課程
池田 董 IKEDA Sumire



振り返れば2年という非常に短い時間でしたが、留学や国際学会での発表等、入学当初の自分では到底成し得ることのできなかった経験を得ることができました。しかし同時に数えきれないほどの失敗にも直面し、自身の至らなさを痛感しました。このような場面で失敗を「失敗」と捉えるか、「成功への糧」とできるかは当人の心掛け次第です。学生である期間は勉強や研究を通しての成長だけでなく、多くの失敗からより多くの糧を得て成長してもらいたいと思います。

これからの
決意表明

4月からは今まで学んできたことは全く異なる分野で働くことになります。悩みや不安は言い出したらキリがありませんが、自分にできることから一歩ずつ踏み出し、多くのことを学び吸収して行きたいと思います。



経済学部
経済学科
岡村 康平 OKAMURA Kohei

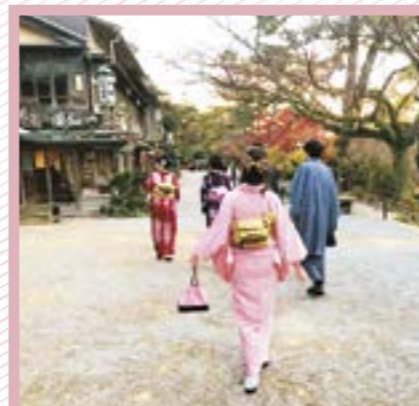


この四年間を過ごすにあたり、「消費」と「投資」この2つの言葉を常に心の中に留めておくよう心掛けました。大学生活は人生を豊かにするために自分に対して「投資」する期間だと思っています。自分が面白そうだなと思ったことに対して惜しみなく投資をしてください。

それが今後の人生の貴重な財産となり、有意義な大学生活を送れると信じています。そのために勇気をだして、様々なことに頑張ってください。

これからの
決意表明

春からは地元を離れ、東京で社会人としてのステップを踏み出します。期待と不安が胸一杯ですが、10年20年先に過去のことを振り返って日々の生活を惜しまないような行動を心掛けていきたいです。



人文学部
人文学科
鈴木 彩 SUZUKI Aya



私は、新潟大学に入学した頃の頃、大学4年間をなんとなく過ごせばいいやと思っていました。ですが、授業やサークル、そして就職活動を通して人との繋がりの大切さを学ぶことができました。4年間を過ごして振り返ってみると、非常に充実した大学生活でした。在校生の皆さんは、ぜひ積極的にいろんなことに挑戦し、たくさん失敗してください。失敗から学ぶことは非常に価値のあるものです。そして人との繋がりを大切に、残りの大学生活を過ごしてください!

これからの
決意表明

春から私は公務員として働きます。正直まだ社会人としてやっていけるか不安はたくさんありますが、適度に趣味等で気分転換をして、しっかり働いていきたいと考えています。どんな時も初心を忘れずに、頑張ります!

理学部
化学科
野崎 永莉香 NOZAKI Erika



私は大学生活では、歯科助手のアルバイトをしたりオーストラリアやアメリカなどに一人旅へ行ったり、興味本位で好きなことをしていました。大学生は意外と何でもできます。そんななんでもできる大学生のみなさんには、他の人と比べないで、自分をもって生活してほしいです。大学にはいろいろな人がいて、他人の意識の高さに圧倒することもあります。人それぞれなので気にしないでください。みなさんにとって楽しい大学生活になりますように。

これからの決意表明

春から大学院に進み、研究漬けの毎日を送る予定です。自分が世界で初めて何かを明らかにできるように、後世に自分の研究が残るように、日々邁進できたらと思っています。

工学部
福祉人間工学科
櫻井 隆佑 SAKURAI Ryusuke



大学生は多くの自由な時間を手に入れることができますが、その時間を生かすも殺すも自分次第です。有効に使いましょう。皆さんが思っている以上に4年間はあるという間です。学業はもちろんですが、サークルやアルバイトなど、学生時代しかできないことを大いに楽しんでください。

これからの決意表明

春からは新潟大学大学院に進学します。これまで以上に研究に励み、実りのある2年間にしたいです。先に社会に出る友人達に負けられないように精一杯頑張ります。

法学部
法学科
柳川 智香 YANAGAWA Tomoka



私は、ゼミでの活動で、間違いを恐れず、まずは自分の考えを伝えることの大切さを知りました。就活をしたときも、この考え方が根底にあったため、予想外の質問をされても、落ち着いて受け答えすることができ、無事内定をいただくことができました。自分自身、この考え方には、かなり助けられましたし、今後も大切にしていきたいと考えています。自分が間違っているかもしれないと怖気づくと、何も言えなくなってしまうので、皆さんには、間違っていることを恐れず、まずは自分の考えを相手に伝える勇気を持ってもらいたいと思います。

これからの決意表明

これからどんなことが待っているか想像はつきませんが、どんな状況に置かれたとしても、新しい気持ちで、かつ、強気で取り組んでいきたいと思っています。また、自分の描く理想に近づくために、逆境であっても自身の糧にできるよう、精神面も成長させることができたらと思います。

医学部
保健学科
上村 萌 KAMIMURA Moe



4年間の大学生活は長いようで短く、あっという間に過ぎ去ってしまいました。友人をはじめ様々な人と出会い、時間を共有したことは、大学生活において最も価値のあるものであったと感じています。後輩の皆さんにも、人との出会いを大切にしていだけたらいいと思います。4年間は本当にあっという間なので、「しておけば良かった」という後悔のないよう、いろんなところに行き、多くの人と出会って有意義な大学生活を送ってください。

これからの決意表明

春からは保健師として、地域で生活する住民の皆さんの健康のために活動していきます。住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、全力で頑張っていきたいと思っています。



大学院
技術経営研究科
大場 純慈 OBA Junji



社会人学生として過ごした2年間、異なる職業に就く様々な年代の同期生や先生方の多様な考え方に触れ、想いをぶつけ合うことができ、とても充実した2年間でした。自ら積極的に新しいことに挑戦することで、より多くの学びや出会いを引き寄せることができるのだと思います。与えられたことをこなすだけでは成長できません。失敗を恐れず挑戦し続けることで、成長することができるのです。みなさんの大学生活が、より充実したものとなることを心から願っています。

これからの決意表明

思い切って飛び込んだ大学院は、想像以上に大変でしたが、それにも増して有意義なものでした。大学院での学びを業務にいかしていくとともに、年齢に縛られることなく、常に新しいことに挑戦していきます。

Q2 卒業するにあたり後輩へ一言

大学院
現代社会文化研究科 博士後期課程
娜布其 NABUQI



留学生活という大きな学習過程を通して、収穫が沢山ありました。研究に当たって、自国にいる時と留学後の見方、考え方等に大きな差異がありました。ある文化に対して、その中に見ることとその外側から見ることは明らかに異なります。グローバル化した今日、世界と触れて、視野を広げ、世界で活躍する国際的人材になりませんか？新潟大学ではこのような機会がたくさんあります。後輩の皆さん是非この機会を活かしてみてください。

これからの決意表明

研究活動を継続しながら、研究界の優秀な方々と付き合う機会を創造し、人間関係を作り、民俗音楽研究に関する国際連携に貢献できるように頑張りたいです。

歯学部
口腔生命福祉学科
高橋 小雪 TAKAHASHI Koyuki



大学で過ごす4年間は、本当にあっという間に過ぎていきます。大学生活が充実するかどうかは、自分次第だと私は思っています。私は実習や部活動に全力で取り組んだことで、とても充実した学生生活を送ることができました。やりたいことがあるという人は是非、時間のある今のうちに思い切ってチャレンジしてみてください。そして、有意義な大学生活を送ってください。

これからの決意表明

これから社会に出て働くにあたり、大学で学んできたことを最大限に生かし、積極的にチャレンジする精神を忘れずに、日々頑張っていきたいと思っています。



新潟大学全学同窓会



全学同窓会 野本憲雄会長インタビュー

伝統ある各学部同窓会の枠を超えた連携・協力を目指して、平成18年に設立された全学同窓会の歩みも10年を超えました。会長の野本憲雄さんに全学同窓会の活動について伺いました。

全学同窓会の理念や目標について教えてください。

目標は、「新潟大学の発展と社会への貢献に資するとともに、会員相互の交流と連携及び親睦を図る」ということです。この目標に向けて、会員への情報提供・サービスを充実し、大学・社会貢献を推進して、「会員にとって同窓会の存在が実感できる同窓会づくり」、「母校とそこで学ぶ学生さんを支援できる力量がある同窓会づくり」を進めたいと考えています。

全学同窓会の活動や事業について教えてください。

広報紙「雪華」の発行、メールマガジンの配信、交流会・講演会の開催、大学との懇談会の開催、「新潟大学カード」(クレジットカード)事業、母校支援事業、学生さんのための「雪華支援事業」などを行っています。

「雪華支援事業」では、学生さんの活動に年350万円程の支援を行っています。また、五十嵐、旭町両キャンパスの体育施設のトレーニング機器の充実のために1,000万円ずつ寄贈してきました。「新潟大学カード」は入会費・

卒業したら... 新潟大学カードに入会しよう!

新潟大学カードはVISA付きの国際カード
入会費・年会費無料

新潟大学カードに関するお問い合わせは...
新潟大学全学同窓会事務局
TEL:025-262-7891(受付時間 平日10:00~15:00)
E-mail: n-doso@adm.niigata-u.ac.jp



年会費無料のクレジットカードです。多くの皆様にご利用いただき、収益は学生さんの支援に充てています。皆様方にも卒業を機に是非ともご入会いただきたいと思います。

学生、卒業生に一言お願いいたします。

母校が教育・研究の実を挙げ、母校の評価が一層高まることは、同窓生みんなの願いです。何よりも教職員、学生の皆さんのご努力・ご活躍に期待しますが、同窓生が社会で活躍され、同窓会にご協力・ご支援をいただいで、母校と学生さんを力強く応援したいものです。卒業生の皆様の前途に幸多かれと祈り、ご健康・ご活躍を祈念申し上げます。

【新潟大学全学同窓会HP】 <http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/>

【新潟大学全学同窓会事務局】

TEL:025-262-7891(受付時間 平日10:00~15:00) FAX:025-262-7892
E-mail: dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

新潟大学の基金に

ご協力ください

新潟大学には「新潟大学まなび応援基金」と「新潟大学基金」の2つの基金があります。2つの基金を有効に活用し、様々な事業の支援を行っています。ご寄附をいただいた場合、税法上の優遇措置が受けられるほか、本学独自の特典も用意しております。皆様からのご支援をお願いします。「新潟大学まなび応援基金」と「新潟大学基金」の詳細はホームページをご覧ください。

新潟大学まなび応援基金 (平成28年創設)

目的 「輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金」をはじめ、経済的理由により修学が困難な学生に対する修学支援事業を行う

■税法上の優遇措置

個人:税額控除と所得控除を寄附者が選択
法人:全額損金に算入可能

■支援事業

- 入学金、授業料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
 - 学資金を貸与又は給付する事業
 - 学生の海外への留学に係る費用を負担する事業
 - TAやRAの業務を行う学生に対する手当等を負担する事業
- ※TAとは、優秀な大学院生に対し、教育的配慮の下に教育補助業務を行わせる制度です。
※RAとは、研究プロジェクト等に、優れた大学院生(博士課程在学者)を研究補助者として参画させる制度です。

上記事業のうちから支援の必要性の高い事業に活用させていただきます。

★支援事業を指定することはできません

新潟大学基金 (平成21年創設)

目的 新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、研究活動支援、学生の厚生施設整備などを推進する事業を行う

■税法上の優遇措置

個人:所得控除
法人:全額損金に算入可能

■寄附目的

- 教育活動の支援
- 学生の修学支援
- 研究活動の支援
- 国際交流活動の支援
- 地域・社会への貢献活動支援
- キャンパス等施設整備の支援
- 病院運営の支援
- 大学全体の支援

★寄附目的を指定することができます

基金を活用した主な事業

- 輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金
- 新潟大学修学応援特別奨学金
- 新潟大学学業成績優秀者奨学金
- 国際交流活動支援事業

【基金ホームページ】 <http://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/>

【お問い合わせ先】新潟大学サポーター連携推進室

TEL:025-262-5651・6010・6356(平日9:00~17:00) E-mail: kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp

祝卒業! これからも新大を温かく見守ってください!
新潟大学公式SNSアカウント→



大学の日常やイベントを日々ツイート♪
@Niigata_Univ_0



フォトジェニックな画像で大学の新たな魅力を紹介!
@niigata_university



大学の取り組みや学生の活動を紹介!
@niigata.univ

【新大広報 Back Number】<http://www.niigata-u.ac.jp/university/pr/publications/shindaikoho/>

新大広報のバックナンバーは上記のURLから閲覧することができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

2018年卒業記念号 [No.206]

2018年3月発行

編集・発行 / 「新大広報」学生編集スタッフ
新潟大学学務部・新潟大学広報室
印刷 / 株式会社第一印刷所



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。